



枚方市立楠葉西中学校  
第3学年 学年通信  
2021年 4月 8日

No. 2

## 3年生のスタート!

3年生のみなさん、ご進級おめでとうございます。いよいよ最高学年ですね。昨日の入学式で新1年生118名を迎えましたが、2年前にみんながあの場所に座っていたんだなあと考えると、時の流れは本当に速いなあと感じます。クラブでも、行事でも、普段の教室の出来事も、すべて「中学校最後の…」となってきますね。そう考えると、とにかく悔いの残らない充実した1年にしてほしい!というのが先生たちの願いです。そして、そうなるように先生たちは全力でサポートしていくつもりです。

ただし、自分たちの中学校生活ですから、その主役はもちろんあなたたち自身です。昨年も学年通信で言い続けてきましたが、『クラスは自分たちでつくるもの』。これを忘れないでください。よく、「楽しいクラスにしたい」と聞きますが、いつもの仲良いものどうして楽しめたら、それが「楽しいクラス」なんですか。クラスは40人全員で成り立つもの。そう考えると、「楽しいクラス」って?中学校最後の学年。どんなクラス、どんな学年にしたいか、改めて考えてみてください。

さて話は変わりますが、「3年生」になって、まず思い浮かんだのは何ですか?

多くの方が『進路』と答えるのではないのでしょうか。ほとんどの人にとって人生で初めて、自分が進んでいく『道』について考えるのが、この1年になると思います。もしかしたら、不安になったり、「嫌だなあ…」と思う人もいるかもしれません。そりゃ先のことが見えなかったら不安になるものですよね。でも本当なら、自分の進路や将来について考えるのって、夢がいっぱい詰まっています、無限大に広がっている楽しいことのはず。

ここで覚えておいてほしいのが、あなたの周りには、あなたの手助けをしたいと思っている先生たちがいること。不安や聞きたいことがあったら、遠慮せずに言ってください。

そして何よりも、この「進路」という壁を乗り越えていく上で、一番大切になってくるのが仲間や友だちです。つらいときやしんどいとき、あきらめかけたときに、お互い支え合い、励まし合えるクラスの仲間や友だちの存在は、本当に大きいものになってきます。それができるクラスを、みんなでつくってほしいと先生たちは願っています。

ということで、今年度みんなとともに1年間の過ごす先生方を紹介します。



### ☆ 3年生の先生方 ☆

	1組	2組	3組	4組	支援

### ☆ 3年生の各教科を担当する先生方の紹介 ☆

教科	担当者	教科	担当者
国語		理科	
社会		音楽	
数学		美術	
体育女子		英語 (少人数)	
体育男子		支援	
技術			
家庭			

### ☆ その他3年生に関わってくださる先生方



## 4/9 (金) の連絡

- 1 限 学年集会
- 2 限 写真撮影・学活
- 3 限 月3 (1c:体、2c:体、3c:数、4c:国)
- 4 限 月4 (1c:理、2c:国、3c:英、4c:社B)
- 5 限 学活
- 放課後 新入生オリエンテーション (仮入部開始)

本日配布して提出する必要があるもの	
・内科検診・運動器検診・眼科検診問診票	4/12
・歯科検診問診票	4/12
・PTA会費口数調査	4/12
・保護者引き渡しの紙	4/12
・副教材についての用紙・封筒	4/13
・保護者集会出欠調査	4/16
・就学援助(必要ある人のみ)	5/17



### 最初の授業で必要なもののリスト

国語	未定
社会	歴史をやるといことは…
数学	教科書・ノート・passion
理科	3年教科書・ノート・iPad
音楽	教科書2冊・器楽の本・筆記用具・2年ファイル・リコーダー
美術	教科書・資料・筆記用具
保体	(男)保健教科書・図解体育・筆記用具
保体	(女)保健教科書・図解体育・筆記用具・優しい心
技家	教科書(技家両方)・ファイル・筆記用具・iPad
英語	春休みHW・教科書・筆記用具・テストやるよ

### ～保護者の皆さまへ～

お子様のご進級おめでとうございます。昨年同様、新型コロナウイルス感染症のために今年度も流動的に学校活動が変わることが予想されますが、私たち教職員一同、子どもたちの健全な成長のために精一杯支え、よりよい学年作りをめざしていきたく思いますので、本年度もご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

さて、お子さまが最終学年を迎え、なにかとご心配なこともあるかと思ひます。それについて、少しお話をさせていただきます。

#### ① 子どもたちと一緒に成長していけたら

「ついに我が子も中学3年生になった」・・・そう思うと、それだけでなんだか緊張してしまうものかもしれません。「今年は我が家も大変だなあ」「公立高校の入試制度はどうなっていくのか」と思う方も多いことでしょう。本当に、子どもが進路選択を迎える年というのに楽しみはないものでしょうか？

いや、そんなことはありません。何より、「大人になっていく自分の子ども」を発見する、親として感激できる年のはずです。急激に大人に近づいていく、たくましくなっていく子どもたちを間近に見るのは、大人の我々にとって刺激的な出来事なのです。

また、この1年は、ご家庭でも、大人としての意見・経験など、「生き方」を子どもたちに伝えるまたとないチャンスだと思うのです。そんなカッコいい言葉で言わなくても、子どもたちは「自分の親や他の大人が今までどう生きてきたか？」ということにはとても興味を持ってい

ますから、ぜひ話をしてみてください。それはまた、自分自身の人生の振り返り、これからを考えるチャンスだと思います。子どもの相談にのりながら、子どもと一緒に考えていくことで、新たな発見(子どもについて、自分自身について)がきっとあることでしょう。そう考えると、進路の年も楽しみが生まれてくるのではないのでしょうか？

#### ② 「自分の進路は自分で決める」ということについて

学年集会などで、子どもたちに向けて「自分の進路は自分で決めることが大事」と伝えていきます。この言葉だけを見ると、「親は子どもの進路に口をはさめないのかな？」と心配される方もいるかもしれませんが、そうではありません。

保護者として、子どもたちの生活や経済的なことなどの面倒も見ていく保護者の方々が子どもの進路に関して意見を言うのは当然のことです。そして、親には親の意見や願いがあります。子どもの将来を思っているからこそ、「こうなってほしい」と願います。そういう意見や願いなどは、ぜひ子どもたちに伝えてもらいたく思います。

けれども、子どもには子どもの願いや意見もあります。お互いに意見が食い違い、衝突することもあることでしょう。そういうときには、「お互いの意見をしっかり相手に伝えた上で、一緒に考えていく」ことが必要になってきます。

最終的にはその人生を歩いていくのは子どもたちです。どんなに「子どもによかれ」と思っただけでも、必ず良いとは限りません。そんなとき、子どもが辛そうだからといって、大人は子どもに代わってあげることはできません。

「自分の進路は自分で決める」ということは、そういう進路の分かれ目で決断をしていく子どもたちを、「考える力を持った1人の人間として認める」ということでもあるのです。子どもたちが大人になっていく大切な時間を一緒に応援していただければと思います。



#### ③ たかが入試、されど入試

ところで、大人の立場からすれば、「中学3年生で、先までの進路がすべて決まってしまうものではない」のは、ある意味で当たり前のことでしょう。先の見えない子どもたちは、(まだ15年の人生ですから)不安になりがち。「これですべてが決まってしまう」と思いがちです。そういう時こそ、先の人生を生きる大人として、「たかが入試」というような立場で接することも大切で、子どもたちは安心するのではないのでしょうか？

けれども、そうは言っても「されど入試」。子どもたちがこれからの道を楽しく、より豊かに、自信を持って生きていけるように、大人の経験や知恵をいっぱい伝えていきたいものです。そういう願いにおいては、親も教師も、共通しているはず。その同じ願いのところで「親と教師がともに手をつなぎ合っって子どもを支えていければ」と思っています。

結局長々と書いてしまいましたが、お子さまにとって中学校最後となるこの1年も、どうぞよろしくお願いいたします。